



一般社団法人日本遠隔医療学会

平成 29 年度（第 7 期）定時総会 議案書

第 1 号議案	平成 28 年度(第 6 期) 事業報告
第 2 号議案	平成 28 年度(第 6 期) 決算報告
第 3 号議案	平成 29 年度(第 7 期) 事業計画
第 4 号議案	平成 29 年度(第 7 期) 予算
第 5 号議案	平成 29-30 年度理事選任

日時 平成 29 年 6 月 24 日（土）13:30～14:30
場所 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-9
御茶ノ水ホテルジュラク 白鳥の間
電話：03-3251-7222 FAX：03-3251-7447

*** 6 月 24 日時間割 ***

10:45～11:45	編集委員会
11:45～12:30	昼食
12:30～13:30	理事会（現理事による）
13:30～14:30	定時総会
14:30～15:00	理事会（新理事による）
15:00～17:00	運営会議
17:15～19:15	懇親会

第1号議案 平成28年度(第6期)事業報告

I 学術活動

1. 日本遠隔医療学会雑誌の発行

(1) 発行実績

平成28年度は3冊の日本遠隔医療学会雑誌第12巻を発行した。

日本遠隔医療学会雑誌 第12巻1号 平成28年5月 500部

日本遠隔医療学会雑誌 第12巻2号 平成28年10月 650部(大会使用分含む)

日本遠隔医療学会雑誌 第12巻補刊号※ 平成29年3月 450部+20部増刷

※補刊号には、以下の発表抄録を収載した。

①学術大会発表抄録 JTTA2015 SENDAI、JTTA2016 YONAGO のA演題、B演題

②JTTA スプリングカンファレンスの発表抄録 SC2016、SC2017

③JTTA 国際ワークショップ2016

(2) 編集委員会

編集委員会の名簿は以下のとおり。

委員長 石塚 達夫 岐阜市立病院

委員 酒巻 哲夫 高崎市医師会看護専門学校

東福寺 幾夫 高崎健康福祉大学

長谷川 高志 群馬大学

森田 浩之 岐阜大学

山田 桃子 NPO法人 medical-e.net

2. 第20回日本遠隔医療学会学術大会 JTTA2016 YONAGO の開催

期日 平成28(2016)年10月15日(土)、16日(日)

会場 米子市 米子コンベンションセンター

大会長 近藤博史 鳥取大学医学部附属病院医療情報部

テーマ 遠隔医療が創る新たな医療—未来に向けた基盤を考える—

プログラム概要 大会企画シンポジウム 2件、一般演題 A演題16件、B演題26件

分科会発表 6分科会、ランチョンセミナー 4件、企業展示 22社

参加者数 258人(懇親会101人)

3. JTTA Spring Conference 2017・ASEAN-Japan Healthcare ICT Forum の開催

期日及び会場 平成29(2017)年2月18日(土) 全国家電会館(文京区)

平成29(2017)年2月19日(日) 全国家電会館(文京区)

平成29(2017)年2月20日(月) 京王プラザホテル東京(新宿区)

プログラム概要

2月18日 SC2017 分科会企画 6分科会、一般演題 4演題、情報交換会

2月19日	SC2017 チュートリアル、厚労省事業報告、厚労科研報告、パネル討論 ASEAN-Forum Opening Ceremony、Welcome Speech、Luncheon Seminar、 Session 1,2、Welcome Party
2月20日	Session 3,4、Luncheon Seminar、Session 5、Round Table Discussion
主 催	日本遠隔医療学会
共 催	Asia eHealth Information Network
後 援	厚生労働省
演題数	SC2017 26 演題、ASEAN-Forum 31 演題 (ランチョンセミナー 2 演題含む)
参加者数	201 人 (海外 10 か国)

4. 第1回 JTTA International Workshop on Telemedicine の開催

期 日	平成 28 (2016) 年 6 月 25 日 (日)
会 場	全国家電会館 (東京都文京区湯島)
主 催	日本遠隔医療学会国際交流委員会
演題数	3 セッション 11 演題+ランチョンセミナー1 演題
参加者数	50 人

II 国際交流・広報活動

1. G7 情報通信大臣会合記念展示会への出展

期 日	平成 28 (2016) 年 4 月 28 日 (木) ~30 日 (土)
会 場	香川県高松市高松シンボルタワー 3F かがわプラザ
出展内容	日本の遠隔医療の歴史・概要紹介ポスター展示、資料配布 コミュニケーションロボット Pepper 展示
展示参加社数	21 団体
来場者数	300 人以上

2. 韓国・保健省訪日調査団への対応

期 日	平成 28 (2016) 年 5 月 10 日 (火)
場 所	渋谷の貸会議室
内 容	韓国からの調査団面談 (質問への回答、日本の遠隔医療の状況説明)
対応者	長谷川高志普及委員長、東福寺幾夫事務局長

3. 韓国・保健省主催未来医療フォーラムへの参加・講演

期 日	平成 28 (2016) 年 11 月 17 日 (木)、18 日 (金)
場 所	ソウル・世宗ホテル
内 容	標記フォーラム準備会合での討議、本番での日本の遠隔医療紹介の講演
対応者	東福寺幾夫事務局長

Ⅲ 学会組織の運営

1. 総会の開催

平成 28 年度定時総会は以下のごとく開催した。

期 日	平成 28 (2016) 年 6 月 25 日 (土)
会 場	御茶ノ水ホテルジュラク
議事内容	1. 平成 27 年度事業報告 2. 平成 27 年度決算報告 3. 平成 28 年度事業計画 4. 平成 28 年度予算

2. 理事会の開催

理事会は以下のとおり開催した。

【平成 28 年度第 1 回理事会】

日時	平成 28 年 6 月 25 日 (土)
場所	御茶ノ水ホテルジュラク 白鳥の間
審議事項	第 1 号議案 平成 27 年度(第 5 期) 事業報告 第 2 号議案 平成 27 年度(第 5 期) 決算報告 第 3 号議案 平成 28 年度(第 6 期) 事業計画 第 4 号議案 平成 28 年度(第 6 期) 予算 第 5 号議案 新入会員の承認

【平成 28 年度第 2 回理事会】 通信による審議

審議期間	平成 29 年 2 月 8 日～2 月 10 日
審議事項	第 1 号議案 学術大会の演題受付業務の委託契約 第 2 号議案 ASEAN-Forum 実施のための BHN テレコム支援協議会と連携契約
審議結果	両議案とも、全会一で提案通り可決した。

【平成 28 年度第 3 回理事会】 通信による審議

審議期間	平成 28 年 3 月 13 日～16 日
審議事項	平成 29 年度～32 年度任期の幹事会員(理事会指名)の指名について
審議結果	以下の 3 名を指名することに決定した。 1. 山田 桃子 (NPO 法人 medical-e.net) 2. 坂田 信裕 (獨協医科大学) 3. 小笠原 敏浩 (岩手県立大船渡病院)

3. 運営会議の開催

運営会議は以下のとおり開催した。

【平成 28 年度第 1 回運営会議】

日時	平成 28 年 6 月 25 日 (土) 15 : 30～18 : 15
場所	御茶ノ水ホテルジュラク 白鳥の間

- 出席状況 出席者 25 人、委任状提出 7 人、欠席者 5 人
- 議事内容
1. 会長挨拶
 2. 定時総会・理事会報告
 3. 学術大会準備状況報告
 - (1) JTTA2016 近藤大会長
 - (2) JTTA2017 坂田大会長
 4. 学術集会開催報告
 - (1) SC2016 開催報告
 - (2) 国際ワークショップ準備状況
 - (3) SC2017 開催準備状況
 5. 国際交流委員会報告
 - (1) G7 サイドイベント出展報告
 - (2) 韓国からの遠隔医療調査団対応
 - (3) ASEAN-Forum 実施に向けて
 6. 編集委員会報告
 - (1) 学会雑誌 12 巻 1 号発行
 - (2) 学会雑誌 12 巻 2 号編集状況報告
 - (3) 学会雑誌 3 号発行（大会抄録収録）発行について
 7. 普及委員会報告
 8. 日本遠隔医療協会の活動状況
 9. 選挙管理委員会報告・・・来年度の選挙実施に向けて
 10. その他

【平成 28 年度第 2 回運営会議】

日時 平成 28 年 10 月 14 日(金) 17:00~18:00

場所 米子コンベンションセンター 6F 第 7 会議室

- 議事内容
1. 会長挨拶
 2. 分科会設立申請について 長谷川常務理事
 3. 学術大会の準備状況
 - 1) JTTA2016 準備状況 近藤博史大会長
 - 2) JTTA2017 準備状況 坂田信裕大会長
 4. Spring Conference 2017 予定について 長谷川常務理事
 5. 国際交流委員会 樽松国際交流委委員長
ASEAN-Japan 医療 ICT フォーラム開催について
 6. 編集委員会報告 編集委員会
 - 1) 学会雑誌 12 巻 2 号の発行を終えて
 - 2) JTTA2016 優秀論文選定について
 - 3) 学会雑誌第 3 号の発行について
 7. その他

【平成 28 年度第 3 回運営会議】

日時 平成 28 年 12 月 3 日(土) 13:00~16:00

場所 全国家電会館 4F 会議室

出欠状況 出席者 20 人、委任状 10 人、代理出席 2 人、欠席 4 人

- 議事内容
1. 会長挨拶 原量宏会長
 2. JTTA2016 開催結果について 近藤博史大会長
 3. JTTA2017 準備状況について 坂田信裕大会長
 4. JTTA2019 大会長・開催地について
大会長に小笠原敏浩氏（岩手県立大船渡病院）を選出
 5. Spring Conference2017 について 長谷川高志普及委員長
 6. 学会雑誌補遺集（抄録集）について 編集委員会
 7. 来年度の学会雑誌発行計画について 編集委員会
 8. ASEAN-JAPAN 医療 ICT Forum について 樽松八平国際交流委員長
 9. 韓国 Future Healthcare Forum 参加報告 東福寺事務局長
 10. 遠隔医療従事者研修事業について 酒巻哲夫日本遠隔医療協会理事長
 11. AMED 研究について 長谷川高志普及委員長
 12. 関連団体報告
 13. 本会の会員・予算執行・財務状況 事務局
 14. 平成 29 年度幹事会員選挙について 東福寺選挙管理委員長
 15. その他

【平成 29 年度第 4 回運営会議】

場所 全国家電会館 4F 会議室

日時 平成 29 年 2 月 19 日(土) 14:00~16:00

- 議事内容
1. 会長挨拶 原量宏会長
 2. JTTA2017 準備状況について 坂田信裕大会長
 3. JTTA2016 大会実施報告 近藤博史大会長
 4. 学会雑誌補遺集発行に伴う投稿規定等の改訂について 編集委員会
 5. ヘルスケア IT2017（後援・講演・出展）について 事務局
 6. 遠隔診療の実績把握の仕組み構築について 長谷川高志普及委員長
 7. 幹事会員選挙とその後の日程について 事務局
 8. ASEAN-Japan Healthcare ICT Forum について 樽松国際交流委員長
 9. その他

4. 分科会の活動

以下の、9つの分科会が活動した。（各活動報告は、学会雑誌第 13 巻 1 号参照）

- (1) e-health 研究会（長谷川高志）
- (2) 在宅医療支援分科会（太田隆正）
- (3) 市民参加の遠隔医療分科会（瀧澤清美）

- (4) 遠隔医療通訳分科会 (竹迫和美)
- (5) 在宅見守り支援分科会 (鈴木亮二)
- (6) 周産期医療分科会 (小笠原敏浩)
- (7) 睡眠遠隔医療分科会 (成井浩司)
- (8) 在宅生体モニタリング機器情報遠隔伝送のためのガイドライン策定分科会 (中村昭則)
- (9) 精神科遠隔医療分科会 (岸本泰士郎)

5. 会員の状況

(1) 平成 29 年 3 月 31 日現在会員数

正会員	471 人 (前年度末は 427 人) 20 人の幹事会員を含む。
学生会員	37 人 (前年度末 27 人)
購読会員	2 人 (変動なし)
賛助会員	22 社 (前年度 19 社)

(2) 平成 28 年度新規入会者

正会員	83 人 (前年度 73 人)
学生会員	8 人 (前年度 11 人)
購読会員	0 人 (前年度 1 人)
賛助会員	7 社 (前年度 7 社)

(3) 平成 28 年度退会者

本人意思	34 人 (音信不通 2 人含む、前年度 15 人)
会費滞納	29 人 (前年度 30 人)

6. ホームページの運用

日本語及び英語のホームページを運用した。

日本語ページ URL	http://jtta.umin.jp/index.php
英語ページ URL	http://jtta.umin.jp/eng/index.php

なお、平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月まで (1 年間) のお知らせ掲載数は、以下のとおりであった。

日本語ページ	29 編 (前年度 33 編)
英語ページ	0 編 (前年度 0 編)

以上。

第 2 号議案 平成 28 年度（第 6 期）決算報告

1. 平成 28 年度収支 決算

(1) 経常収支

【経常収入】

科目名	金額	
【会費収入】		
正会員会費収入	2,944,000	
幹事会員会費収入	216,000	
学生会員会費収入	92,000	
賛助会員会費収入	760,000	
過年度会員会費収入	240,000	
購読会員会費収入	8,000	
会費収入 計		4,260,000
【参加費収入】		
役員研修会参加費収入	118,000	
SpringConference 参加収入	977,000	
ランチョンセミナー参加費	900,000	
参加費収入 計		1,995,000
【学会誌事業収入】		
学会誌別冊作成	13,340	
J T T A 論文掲載料	184,000	
学会誌バックナンバー販売	135,000	
著作権使用料	14,256	
学会誌事業収入 計		346,596
【その他収入】		
受取利息	1,011	
その他収入 計		1,011
経常収入 合計		6,602,607

【經常支出】

科目名	金額
【事業費】	
分科会活動助成金	4,752
役員研修会開催費	191,800
SpringConference 開催費	1,090,558
委員会活動費	422,280
広報活動費	201,420
会議費	168,412
国際交流費	597,596
機関誌印刷費	2,004,800
論文別冊印刷費	10,260
IS f TeH 年会費	60,239
市民活動助成金	100,392
【管理費】	
事務局人件費	262,314
国内旅費	455,589
運搬通信費	405,668
手数料	25,254
消耗品費	190,799
税理士報酬	324,000
雑費	24,600
【その他費】	
棚卸廃棄損	67574
2018 学術大会準備金	142,236
經常支出合計	6,750,543

【經常収支差額】

▲147,936

(2) 特別収支

【特別収入】

科目名	金額	
2015 仙台、2016 鳥取大会より助成金 返金	600,000	
2016 鳥取大会より寄附	2,781,057	
国際 WorkShop 参加費収入	202,000	
ASEAN Forum 開催資金	20,808,638	
特別収入 計		24,391,695

【特別支出】

科目名	金額	
ASEAN Forum 開催費	20,834,904	
G7 国際 WorkShop 開催費	513,874	
特別支出 計		21,348,778

【特別収支差額】 **3,042,917**

(3) 収支合計

【収入合計】 **30,994,302**
【支出合計】 **28,099,321**
【収支差額】 **2,894,981**

2. 財産目録および貸借対照表

(1) 資産目録

【資産の部】

科目名	金額
現金	0
郵貯銀行 振替口座	227,729
郵便局 通常貯金(ぱるる)	39,624
群馬銀行 高崎支店	99,578
群馬銀行 高崎栄町支店	479,003
定額貯金	400,000
預貯金 計	1,245,934
立替金	1,337,470
学会誌バックナンバー	607,249
備品費 印鑑	19,110
未収入金	3,621,060
その他流動資産 計	5,584,889
【資産合計】	0 6,830,823

【負債の部】

科目名	金額
未払金	373,010
前受会費	16,000
流動資産 計	389,010
【負債合計】	389,010

【負債および正味財産合計】

前期繰越正味財産	3,546,832
当期正味財産増加額	2,894,981
【負債及び正味財産合計】	6,830,823

(2) 貸借対照表

【資産の部】

科目名	金額
現金	0
預金	845,934
定額貯金	400,000
預貯金 計	1,245,934
立替金	1,337,470
学会誌バックナンバー	607,249
備品費	19,110
未収入金	3,621,060
その他流動資産 計	5,584,889
[資産合計]	0 6,830,823

【負債の部】

未払金	373,010
前受会費	16,000
流動資産 計	389,010
[負債合計]	389,010

【負債および正味財産合計】

前期繰越正味財産	3,546,832
当期正味財産増加額	2,894,981
[負債及び正味財産合計]	6,830,823

3. 監査報告書

監査報告書

私は、平成29年6月9日、役員より提出された平成28年分事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録について総勘定元帳ならびに証憑書類の提出を求め、所定の監査を実施しました。

その結果、適正に処理されていると認められたのでここに報告します。

平成29年6月9日

一般社団法人 日本遠隔医療学会

監 事

吉井 宏文 

第3号議案 平成29年度(第7期)事業計画

1. 学術活動

(1) 学会雑誌発行

日本遠隔医療学会雑誌	13巻1号	平成29年6月発行	500部程度
日本遠隔医療学会雑誌	13巻2号	平成29年9月発行	650部程度
日本遠隔医療学会雑誌	13巻補刊号	平成30年3月発行	500部程度

(2) 学術集会開催

第21回日本遠隔医療学会学術大会 (JTTA2017)

大会長	坂田 信裕 (獨協医科大学)
プログラム委員長	本間 聡起 (埼玉メディカルセンター)
実行委員長	郡 隆之 (利根中央病院)
開催日	平成29年9月30日(土), 10月1日(日)
会場	栃木県総合文化センター (宇都宮市)

JTTA Spring Conference 2018

開催日	平成30年2月10日(土)、11日(日)
会場	東京都文京区 全国家電会館

2. 国際交流・広報活動

(1) Healthcare IT 2017 への参加

期日	平成29年4月19日(水)～21日(金)
場所	東京ビッグサイト
内容	展示・講演
講演	講師 酒巻 哲夫、坂田 信裕

(2) 図説・日本の遠隔医療の改訂

改訂版は、本会ホームページで公開する。

(3) Telemedicine in Japan の改訂

図説・日本の遠隔医療の改訂版を英訳し、ISfTeHに送付し、以下の文書の一環として公開する。

A Century of Telemedicine - A World Wide Overview - Part 2

送付期限：2017年10月

(4) 各方面からの問合せ等への対応

3. 組織の運営

(1) 総会

定時総会	平成29年6月24日(土)	東京
------	---------------	----

(2) 理事会

第1回理事会	平成29年6月24日(土)	東京
第2回理事会	平成29年12月2日(土)	東京

第3回理事会 平成30年2月10日(土) 東京

(3) 運営会議

第1回運営会議 平成29年6月24日(土) 東京

第2回運営会議 平成29年9月29日(金) 宇都宮

第3回運営会議(研修会) 平成29年12月2日(土) 東京

第4回運営会議 平成30年2月10日(土) 東京

(4) 事務局

- ・財務・会計 健全・正確な財務会計を運営、会費・掲載料の適正な収納。
- ・会員管理 正確な名簿の維持、会員サービスの適時提供。
- ・ホームページ タイムリーで正確な情報発信。英語発信力向上を目指した運用再検討。
- ・役員、委員会、分科会活動、市民活動の適切な支援
- ・IS f TeH 窓口
- ・その他

(5) 委員会・・・年度末に活動報告を提出する。

- ・編集委員会 学会雑誌13巻1, 2、補刊号の発行
- ・普及委員会 Spring Conference 2017開催、日本遠隔医療協会事業への協力支援
遠隔医療実績把握の仕組み検討、AMED研究・厚労科研班への協力
- ・国際交流委員会 国際交流の支援、国際ワークショップ2018の企画運営、
Web英語ページ支援
- ・選挙管理委員会 2019年度幹事会員選挙の実施

(6) 分科会・・・年度末に活動報告を提出する。

- ・分科会の継続確認
- ・適切な助成の実施

以上。

第4号議案 平成29年度(第7期)予算

1. 平成29年度予算案
H29 予算表参照

第 5 号議案 平成 29～30 年度理事選挙

【理事の人数】

本会の定款第 24 条によりますと、理事の人数は 3 人以上、10 人以下と規定されています。今回、11 人の方が立候補していますので、この中から、本総会で 10 人を選任します。

【理事の任期】

理事の任期は、本総会終了後から、平成 31 年度定時総会終了時点までです。

【候補者名簿】

立候補者は以下のとおりです。

No.	氏名	所属	生年	年齢
1	郡 隆之	利根中央病院	1969	47
2	鈴木 亮二	群馬大学医学部附属病院	1967	49
3	東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科	1951	65
4	長谷川 高志	NPO 法人日本遠隔医療協会	1956	60
5	原 量宏	香川大学瀬戸内圏研究センター	1943	73
6	森田 浩之	岐阜大学大学院	1959	57
7	岡田 宏基	香川大学医学部医学教育学講座教授	1955	62
8	岸本 泰士郎	慶應義塾大学医学部精神神経科学教室	1973	43
9	近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院	1956	60
10	坂田 信裕	獨協医科大学医学部	1959	57
11	山田 桃子	NPO 法人 medical-e.net	1975	41

以上。